

2019年度

事業概要

2019年4月

国土交通省 中部地方整備局
愛知国道事務所

1. 愛知国道事務所の使命

尾張地域の人・もの・情報の交流を支える道づくり

愛知国道事務所は、ものづくり等で日本の活力を生み出し続ける尾張・西三河地域において「国民の安全・安心の確保」、「力強く持続的な経済成長の実現」、「豊かな暮らしの礎となる地域づくり」に向け、全力で地域の課題に取り組みます。

愛知国道事務所は以下の3つを重点事項と位置づけ、事業を推進していきます。

① 災害に強いレジリエントな国土づくり（国土強靱化）の実現

名古屋都市圏の円滑な道路交通を確保するため、郊外から2環内側への交通を分散導入、内側を通過する交通をバイパスさせ、災害、事故等緊急時に迂回誘導させる環状道路を実現します。

② 効率的な交通の実現

名古屋都市圏の持続的な発展には周辺都市相互の交流・連携強化が必要であり、名古屋市を中心とした放射道路と、これらを連絡する環状道路を形成し、機能強化を実現します。

③ 地域の活力を引き出す道づくり

地域の成り立ちや課題、今後の方向性を見極めながら課題解消に向け事業を推進します。

また、以下2項目について、愛知国道の事業に係わる関係者と連携して取り組みを推進していきます。

① 建設現場の生産性向上

建設現場の生産性向上に資するBIM/CIMの活用、新技術の採用を積極的に推進するとともに、現場での活用をサポートします。

② 建設現場の働き方改革

- ・ 女性活躍推進として、女性技術者で結成するチーム“愛”の活動を推進します。
- ・ 建設現場の週休2日制の採用を積極的に実施します。

2. 事業・調査路線と2019年度の主な進捗

愛知県道事務所は、近畿自動車道伊勢線、国道41号、247号、302号の4路線、約76kmの整備を担当するとともに、国道302号の東部共同溝（春日井市～名古屋市）の約24kmの整備を担当しています。

道路事業の、2019年度の主な進捗として、

- 近畿自動車道伊勢線（名古屋西～飛鳥）の2020年度開通に向け、橋梁工事を推進します。
- 国道41号名濃バイパスの中小口3交差点以北区間の改良工事等に着手します。
- 国道302号名古屋環状2号線（東北部：春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山）の4車線化に向け、橋梁下部工事に着手します。

また、主な道路調査として、

- 名岐道路は、概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）を実施します。
- 名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向け、一宮西港道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施します。

■事業・調査実施箇所



■ 2019年度事業費（事業箇所別）

箇所名	事業費 (百万円)		
	2018年度	2019年度	伸率
○改築事業 ※3	12,131	5,705	0.47
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）	6,167	75	0.01
国道302号 名古屋環状2号線	4,164	3,510	0.84
国道302号 愛知302号環境対策	10	120	12.00
国道41号 名濃バイパス	1,700	2,000	1.18
国道1号 愛知1号震災橋架替（日光大橋架替）※1	90	—	—
国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）※2	(75)	(1,700)	—
○共同溝事業	880	1,090	1.24
国道302号 愛知302号共同溝 鳴海Ⅲ共同溝	450	556	1.24
国道302号 愛知302号共同溝 緑地共同溝	430	534	1.24
事務所計 ※3	13,011	6,795	0.52
○受託・附帯	16,113	16,776	1.04
事務所計（受託・附帯含む） ※3	29,124	23,571	0.81

※1 国道1号愛知1号震災橋架替（日光大橋架替）は、2018年度に事業完了

※2 国道247号西知多道路（東海ジャンクション）は、名四国道事務所と愛知国道事務所との共同事業であり、愛知国道事務所では接続ランプ部を担当

※3 西知多道路（東海ジャンクション）含まない額

3. 2019年度の事業内容

○道路改築事業

近畿自動車道伊勢線

名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）： 橋梁上部工事を推進します。

国道302号 名古屋環状2号線

西南部・南部Ⅱ区間：

- ・ 完成4車線開通に向け、改良工事、橋梁上部工事、水文調査等を推進します。
- ・ 遮音壁工事等を推進します（愛知302号環境対策）

東北部区間：

- ・ 名鉄瀬戸線の踏切除去に向け、鉄道立体化を推進します。
- ・ 完成4車線開通に向け、橋梁下部工事に着手します。

西北部区間：

- ・ JR東海道本線との交差部については、4車線化に向けた2期線横断函渠の設計を推進します。
- ・ 名鉄名古屋本線との交差部については、踏切除却に向けた鉄道立体化の詳細設計を推進します。
- ・ 名鉄津島線の踏切除去に向け、関係機関との調整を推進します。

国道41号

名濃バイパス：改良工事、舗装工事等を推進します。

○共同溝事業

国道302号 共同溝

鳴海Ⅲ共同溝：本体工事、調査設計を推進します。

緑地共同溝：本体工事、調査設計を推進します。

■愛知国道事務所事業実施箇所

箇所名		路線名	事業延長 (km)	場 所
○改築事業				
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛鳥)		近畿自動車道 伊勢線	12.2	名古屋市中川区島井町 ～愛知県海部郡飛鳥村木場一丁目
国道302号 名古屋環状2号線		302号	58.6 ※(54.3)	名古屋市中川区富田町 ～ 同市中川区富田町
国道302号 愛知302号環境対策		302号	58.6 ※(54.3)	同上
国道41号 名濃バイパス		41号	7.0	愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸
○共同溝事業				
国道 302号 東部 共同溝	鳴海Ⅰ共同溝	302号	1.1	名古屋市天白区高島一丁目 ～同市緑区乗鞍一丁目
	鳴海Ⅱ共同溝	302号	2.6	名古屋市緑区乗鞍一丁目 ～同市緑区鳥澄一丁目
	鳴海Ⅲ共同溝	302号	1.5	名古屋市緑区鳥澄一丁目 ～同市緑区大高町中平部
	緑地共同溝	302号	3.0	名古屋市緑区大高町中平部 ～同市緑区大高町別所山

※ () は愛知国道事務所を担当している事業延長

近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）

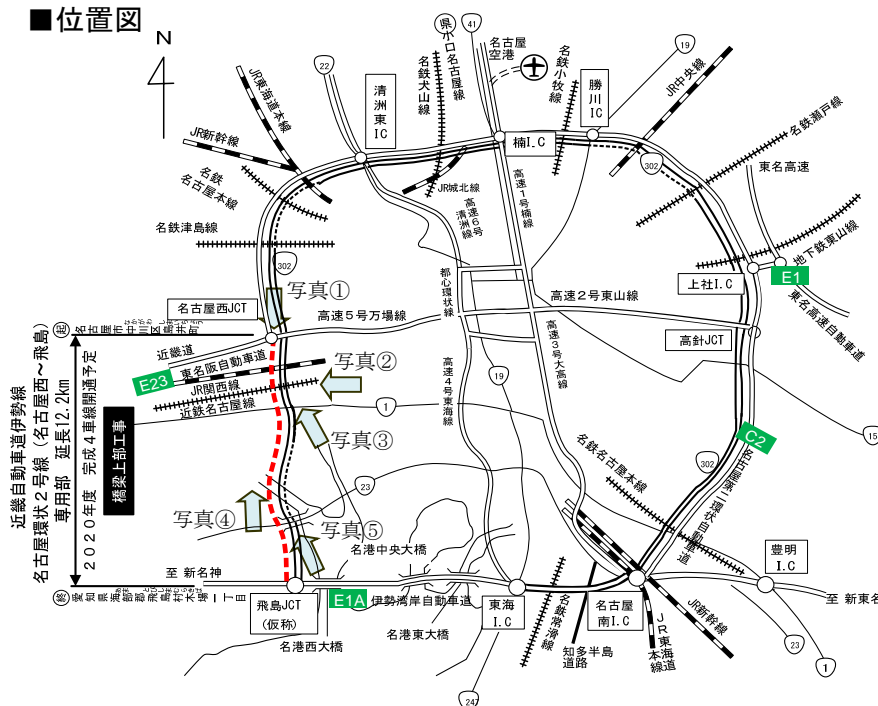
近畿自動車道伊勢線は、名古屋市から伊勢市に至る延長約81kmの高速自動車国道であり、名古屋環状2号線（専用部）の一部区間を形成しています。

本事業は、名古屋都市圏をネットワークとする主要幹線道路のひとつとして、交通分散による都市内交通の渋滞緩和、国際拠点の名古屋港や中部国際空港へのアクセス強化及び災害に強い道路機能の確保を目的とした事業であり、名古屋西JCT（ジャンクション）から飛島JCT（仮称）までの約12.2km区間において、4車線整備を行うものです。（2020年度開通予定）

2019年度は、橋梁上部工事を推進します。

（本事業は、中日本高速道路(株)と協同で整備を進めています）

■位置図



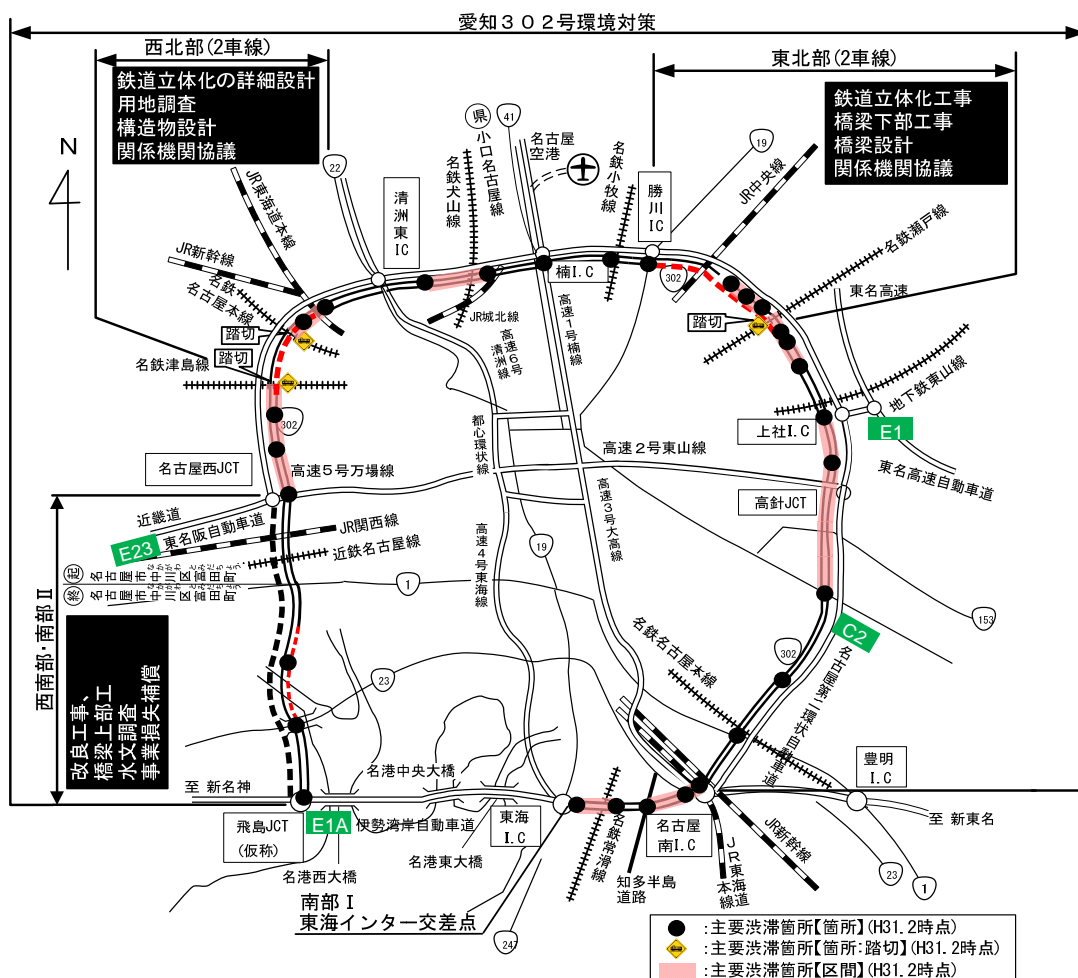
国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策

名古屋環状2号線は、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路と主要地点で連結し、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす総延長約66kmの環状道路であり、大都市圏の環状道路として、都市内交通の渋滞緩和を図るとともに、沿道環境改善にも大きな役割を果たす道路です。一般部と呼んでいる国道302号と専用部と呼んでいる名二環（名古屋第2環状自動車道）が立体的に並行（複断面構造）しています。

2019年度は以下の事業内容を実施します。

- ・西南部・南部Ⅱ区間は、完成4車線化に向け、改良工事、橋梁上部工事、遮音壁設置工事等を推進します。
- ・東北部区間は、名鉄瀬戸線の踏切除却に向け、鉄道立体化を推進します。また、完成4車線化に向けた橋梁下部工事に着手するとともに、関係機関協議等を推進します。
- ・西北部区間は、JR東海道本線交差部の2期線整備に向けた横断函渠設計等を推進します。名鉄名古屋本線の踏切除却に向け、鉄道立体化の詳細設計、用地調査等を推進します。名鉄津島線の踏切除却に向けた関係機関協議を推進します。

■位置図



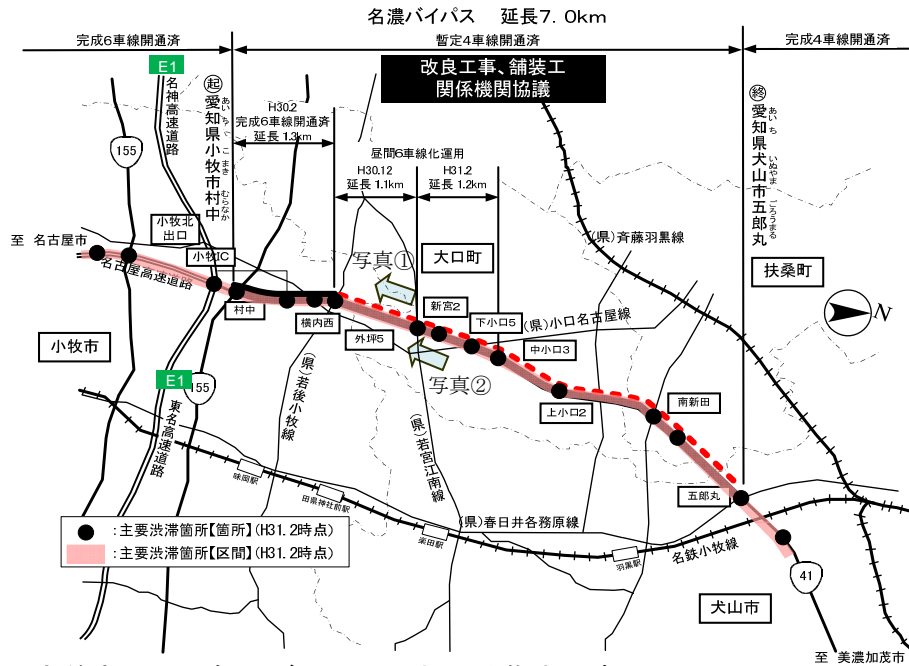
国道41号 名濃バイパス

国道41号名濃バイパスは愛知県名古屋市から岐阜県美濃加茂市へ至る主要幹線道路であり、その中で慢性的な交通渋滞が発生している愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸における交通容量の拡大による渋滞緩和、高速道路インターへのアクセス性の向上を目的とした事業です。

本事業は、暫定4車線開通している当該区間を6車線化し、交通容量の拡大を図る延長7.0kmの事業です。平成30年2月に村中から横内西（1.3km）まで6車線で開通しました。

2019年度は、横内西～中小口3交差点までの舗装工事を推進するとともに、中小口3交差点以北の区間の改良工事等に着手します。

■位置図



・外坪5丁目交差点（函渠盤下げ区間）における集中工事



・下小口5丁目交差点付近の交通状況

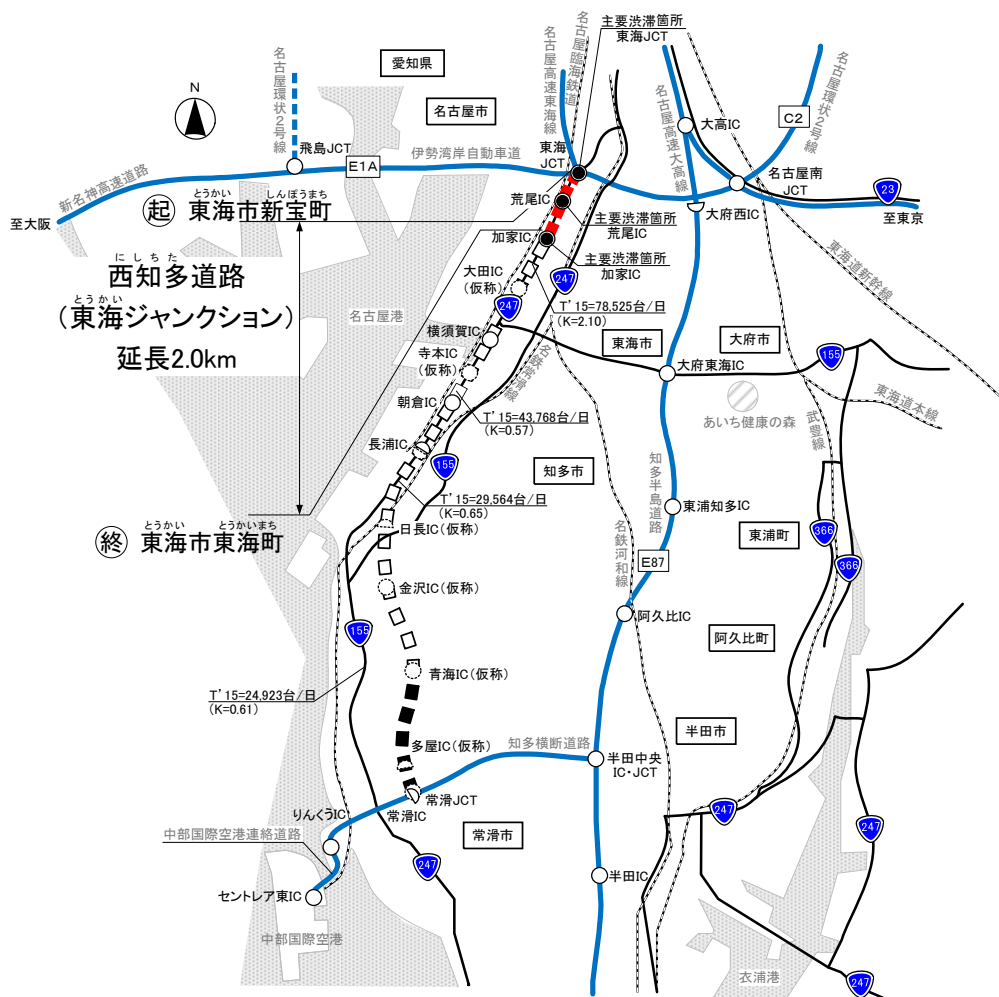


国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）

一般国道247号西知多道路（東海ジャンクション）は、中部国際空港と名古屋港及び高規格幹線道路を連絡し、名古屋都市圏専道網を形成することで、国道247号の渋滞を緩和し、物流効率化によるものづくり産業の支援を目的に計画された道路です。

2019年度は、用地調査、地質調査、橋梁詳細設計、調査設計、用地買収、改良工、橋梁下部工等を推進します。

■位置図



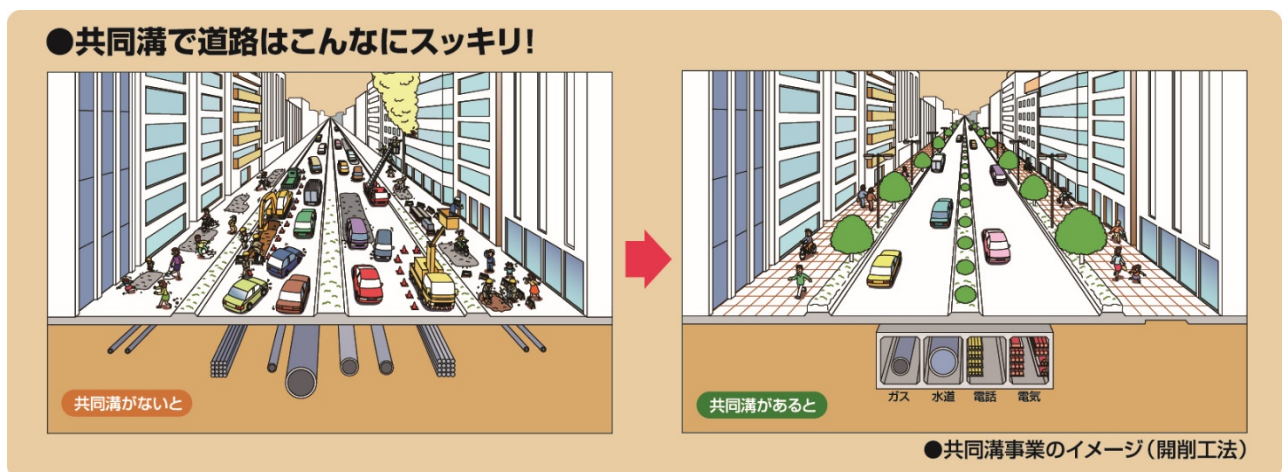
※国道247号西知多道路（東海ジャンクション）は、名四国道事務所と愛知国道事務所との共同事業であり、愛知国道事務所では接続ランプ部を担当

国道302号 東部共同溝

1. 目的

共同溝は、ガス、上下水道、電気・電話などのライフラインをまとめて道路の路面下に收容する施設で、共同溝を設置することでこれらの公益企業者による道路の掘り返し工事を無くし、円滑な交通環境を確保すると共に、地震時におけるライフラインの安全性を向上させる事ができます。

■共同溝の整備イメージ



2. 2019年度の事業内容

	鳴海Ⅰ共同溝	鳴海Ⅱ共同溝	鳴海Ⅲ共同溝	緑地共同溝
■事業概要				
①事業延長	1. 1 km	2. 6 km	1. 5 km	3. 0 km
②事業区間	名古屋市天白区高島一丁目～ 同市緑区乗鞍一丁目	名古屋市緑区乗鞍一丁目～ 同市緑区鳥澄一丁目	名古屋市緑区鳥澄一丁目～ 同市緑区大高町中平部	名古屋市緑区大高町中平部～ 同市緑区大高町別所山
■2019年度 事業内容	—	—	本体工事、 調査設計推進	本体工事、 調査設計推進



4. その他取り組み「けんせつ小町・チーム“愛”」

愛知国道事務所では、建設業の担い手確保の一環として、女性入職促進・建設現場環境の改善を図るため、産×官の愛知国道事務所事業に携わる女性技術者を中心に「チーム“愛”」を結成し、様々な取り組みを行っています。

チーム“愛”の構成・環境改善提案

<構成>

建設会社	26名
建設コンサルタント	12名
国・県・市	12名
合計	50名

<2016年11月のチーム“愛”提案>

1. 全ての工事現場に「快適トイレを設置」
2. 監督職員待機所の「トイレ環境の改善」
3. 監督職員待機所に女性技術者が集まり情報交換を行う「交流の場の創出」
4. 女性が働く場へ「休憩施設の設置」



飛鳥大橋にて、チーム“愛”メンバー
(2018年12月現場視察・意見交換)



「交流の場」「休憩施設」りんくるハウスを開設2017年6月

2018年度の取り組み

BIM/CIMの活用事例から「女性技術者の働き方改革や働きやすさ」を考察

- 2018.7.26 女性技術者が活躍するためのBIM/CIM勉強会の開催
- 2019.1.26 国内最先端BIM/CIM活用現場視察

土木系女子学生の入職支援

- 10/17,18 建設技術フェア2018in中部 学生交流ひろば ブース出展
(ブース来場者81名【内学生52名 女性46名 男性6名】)



一般社団法人 日本建設業協会が主催する、

第4回「けんせつ小町活躍推進表彰」において、全国91件の応募の中から

チーム“愛”の取り組みが『最優秀賞』を受賞！

国土交通省中部地方整備局 愛知国道事務所

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-62 TEL.052-761-1191(代)
<http://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/>



愛知国道事務所